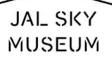
日本航空株式会社 2023年3月期 第2四半期 決算説明会









「JAL SKY MUSEUM」 2022 第16回 キッズデザイン賞 受賞











「JAL SKY MUSEUM」が2022年度の「グッドデザイン賞」「キッズデザイン賞」を受賞

2022年11月1日 代表取締役社長執行役員 赤坂祐二 代表取締役専務執行役員 菊山英樹



SKYTRAX

Covid-19 Safety Rating 5-Star



SKYTRAX

COVID-19 Excellence Award



SKYTRAX

World Airline Star Rating 5-Star



SKYTRAX 2022年度

Best Economy Class Airline Seat



APEX

Health Safety Powered by SimpliFlying Audit Diamond



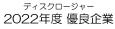
BEST WIFI IN EASTERN ASIA WINNER 2022



APEX WORLD CLASS



APEX FIVE STAR





IR GOD WISUAL

I R グッドビジュアル賞 実行委員会

第9回 IRグッドビジュアル賞



2022 健康経営銘柄 Health and Productivity

2022 健康経営優良法人 Health and productivity ホワイト500

- 2023年3月期第2四半期 業績概要
- 2. 2023年3月期通期連結業績予想
- 3. 下期の取り組み
- 4. 2023年3月期第2四半期 業績詳細
- 5. 参考資料

ESG社外評価



FTSE Blossom Japan Index



FTSE Blossom Japan Sector Relative Index

2022 CONSTITUENT MSCI日本株 ^{*} 女性活躍指数 (WIN)

当社によるMSCIインデックスへの組み入れや、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名称の使用は、MSCI又はその関係会社による当社の後援、宣伝、販売促進を目的としていません。MSCIのサービスおよびデータはMSCIの地占的財産で、MSCI及びMSCIインデックスの名称とロゴは、MSCI又はその関係会社の商標又はサービスマークです。

- <mark>注.(1) 当資料にお</mark>ける表中の値は、金額は億円未満を切り捨て、比率は小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。また、比率は増減率が1,000%となる場合は「一」を記載しております。
 - (2) FY22Q2(7月-9月)の実績はFY22Q2累計実績(4月-9月)からFY22Q1実績(4月-6月)を差し引いて算出しております。
 - (3) LCC=Low Cost Carrier
 - (4) ※= 役員報酬算定にESG銘柄選定評価を導入しており、対象とする銘柄のうち当社が選定されているもの

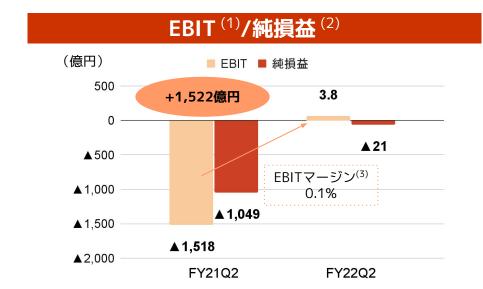
2023年3月期 第2四半期 業績概要



✓ 感染防止と社会経済活動両立への動きの浸透により需要は着実に回復し、燃油高騰・大幅な 円安にもかかわらず、売上収益・EBITは改善、上期EBIT黒字化を達成



為替市況実績 **FY21Q2 FY22Q2** FY21比 シンガポール・ケロシン 72.1 140.4 +94.7% (USD/bbl) ドバイ原油 (USD/bbl) 67.9 105.8 +55.8% 為替 (円/USD) 109.5 130.8 +19.5%



運航諸元/ASK 							
	FY21比						
国際線	国内線	合計					
+64.0%	+65.3%	+64.6%					

⁽¹⁾ EBIT=財務・法人所得税前損益(税引前損益から利息等の財務収支を除いたもの)(2) 純損益=親会社の所有者に帰属する四半期損益 (3) EBITマージン=EBIT/売上収益

2023年3月期 第2四半期 事業領域別実績



フルサービスキャリア

第2四半期には、燃油市況高騰下でも 旅客数がコロナ前比(2019年度比) 国際線40%・国内線75%の水準で 黒字化を達成、収益性は着実に改善

FY22Q2 売上収益

3,796億円

貨物·郵便

総需要が落ち込む中、 高い単価水準にて物量を確保し増収を達成

FY22Q2 売上収益

1,262億円

フルサービスキャリア 🕂

貨物・郵便

FY22 Q2 EBIT

▲150億円

LCC



中国線の厳しい運航制限、国内LCCの厳しい 経営環境により苦戦が続くが、 中長距離国際線LCCビジネスは順調に成長

> FY22Q2 売上収益 115億円

連結子会社であるZIPAIRおよび スプリング・ジャパン2社の売上収益 FY22Q2 EBIT

▲38億円

ZIPAIRおよびスプリング・ジャパンに加えて、ジェットスター・ジャパン(持分法適用会社)に関わるものを含む

マイル・ライフ・インフラ等

マイレージ事業は安定的に利益を計上、 JALUXの連結化によるコマース事業の拡充と 併せて航空事業に続く第2の柱として収益貢献

FY22Q2売上収益

FY22Q2 EBIT

1,010億円

193億円

- ・ 上記の事業領域別の売上収益・EBITについては、社内管理上の簡便的手法で試算したものであり、事業セグメント別の売上収益・利益ではありません
- ・ 上記の事業領域区分は、航空運送事業セグメント、その他とは一対一で対応しておりません
- 今後社内管理ルールの変更等により、事後的に変更される可能性がある、あくまでも便宜的な数値であることをご了承願います
- ・ なお、当該社内試算値は今年度より行っているため、前年度の数字はございません



- 1. 2023年3月期第2四半期 業績概要
- 2. 2023年3月期通期連結業績予想
- 3. 下期の取り組み
- 4. 2023年3月期第2四半期 業績詳細
- 5. 参考資料

2023年3月期 通期連結業績予想について



- 至近の状況を踏まえ、売上収益および営業費用予想を変更、EBITおよび純利益予想は変更せず
- 燃油為替市況による費用増を打ち返すべく、足許の国際・国内旅客の急激な回復と国際旅客の 単価上昇、貨物の増収に加え、あらゆる努力を行い、当初の利益予想を達成する

			2021年度		2022	年度	
(単位	立:億₽	9)	実績	前回 予想	今回 予想	予想 増減額	前年差
売上収益		6,827	13,900	14,040	+140	+7,212	
	フルサ	ービスキャリア	5,282	11,100	11,280	+180	+5,997
		国際旅客収入	687	3,640	4,040	+400	+3,352
		国内旅客収入	2,351	5,250	4,710	▲ 540	+2,359
		貨物郵便収入	2,183	2,080	2,380	+300	+196
		その他収入	60 (4	130	150	+20	+89
	LCC (1)	29	380	350	▲ 30	+320
	マイル	・ライフ・インフラ等 (2)	1,515	^{.)} 2,420	2,410	▲10	+894
営業費	費用		9,402	13,250	13,560	+310	+4,157
	燃油費		1,454	2,900	3,220	+320	+1,765
	燃油費	以外	7,947	10,350	10,340	▲ 10	+2,392
その他収支 (3)		180	150	320	+170	+139	
EBIT			▲2,394	800	800	0	+3,194
純損益	益		▲1,775	450	450	0	+2,225

事業領域別EBIT										
	2022年度									
(単位:億円)	前回予想	今回予想								
フルサービスキャリア 貨物・郵便	400	470								
LCC (1)	収支均衡へ	▲ 90								
マイル・ライフ・インフラ等 (2)	400	420								
TANK I SE MALE		<u> </u>								

燃油・荷貸巾 流削提									
	2021年度	202	2年度						
	実績	前回予想	今回予想						
シンガポール・ケロシン (USD/bbl)	81.6	120.0	132.7 (下期 125.0)						
ドバイ原油 (USD/bbl)	74.3	95.0	102.9 (下期 100.0)						
為替 (円/USD)	111.6	120.0	137.9 (下期 145.0)						

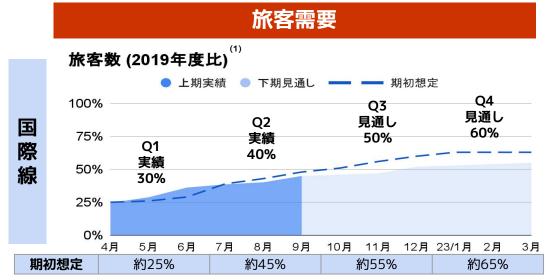
- ・ 事業領域別売上収益・EBITは、社内管理上の簡便的手法で試算したも のであり、事業セグメント別の売上収益・利益ではありません
- 事業領域区分は、航空運送事業セグメント、その他とは一対一で対応し ておりません

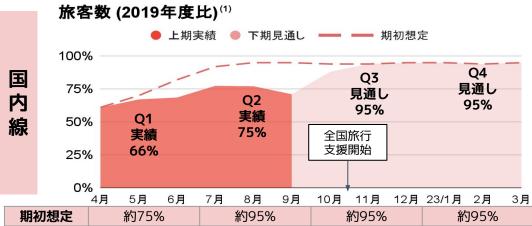
(1) LCC=旅客収入・旅客運送に係る手数料など。売上収益は、連結子会社のZIPAIRおよびスプリング・ジャパン、 EBITは、 連結子会社2社に加えて、持分法適用会社であるジェットス ター・ジャパンに関わるものを含む(2)マイル・ライフ・インフラ等=旅行・マイル提携・受託事業収入など(3)その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支 (4) 2022年8月1日公表のFY22Q1決算説明会資料における2021年度通期実績値は、LCCの旅客運送に係る手数料の計上区分を変更した値に修正しております

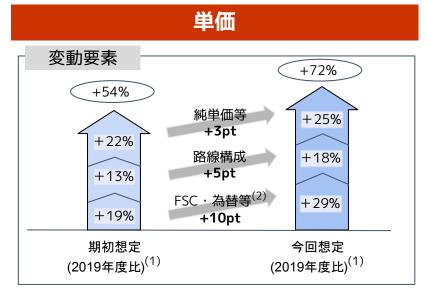
2023年3月期 通期連結業績予想の前提国際・国内旅客事業(フルサービスキャリア)

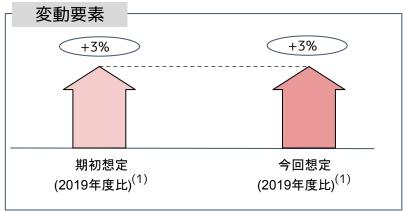


- ✓国際旅客は、旅客数は期初想定を下回るも、単価の大幅増により、収入は期初想定を上回る見込み
- **✓**国内旅客は、今後需要の急回復が期待されるが10月までの下振れにより、収入は期初想定を下回る見込み





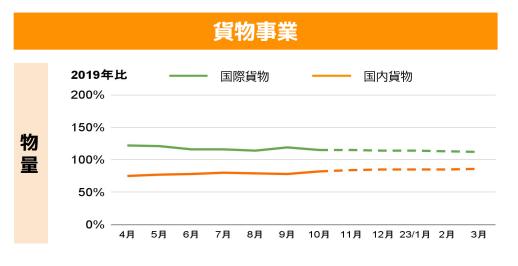


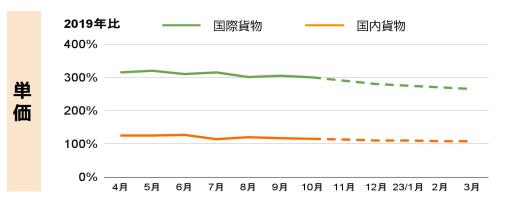


2023年3月期 通期連結業績予想の前提 貨物事業、市況前提



- **✓** 国際貨物は、需給バランスが緩みつつあるも、高単価を維持し収入は期初見通しを上回る見込み
- **✓** 市況は為替1ドル当たり145円、燃油はシンガポール・ケロシン125ドル/bblに設定





燃油・為替の市況変動によるQ3以降の 1ヶ月あたりの利益影響 (ヘッジ、燃油サーチャージ等込み)

(億円) 燃油市況		ドバイ 原油	95ドル	100ドル	105ドル	115ドル
(IZI J)	(USD/bbl)	シンガポール・ ケロシン	120ドル	125ドル	130ドル	140ドル
	160円		_ 5	▲10	▲20	▲ 30
V 44	1	50円	±0 ر_	<u></u> ▲ 5	▲ 10	▲20
為替 (円/USD)	1	45円	+5	±0	▲ 5	▲10
	1	40円	+10	+5	±0	▲10
	1	30円	+20	+10	+5	±0

予想前提/国際旅客・燃油サーチャージ

	10月~11月	12月~1月	2月~3月
日本発	20,000円テーブル	17,000 円テーブル	18,000円テーブル
海外発	150ドルテーブル	120ドルテーブル	120ドルテーブル
備考	確定	済み	10-11月の市況 により決定

仮に「シンガポール・ケロシン125ドル・為替145円」で推移した場合には 「日本発 18,000円テーブル、海外発120ドルテーブル」となる見込み



- 1. 2023年3月期第2四半期 業績概要
- 2. 2023年3月期通期連結業績予想
- 3. 下期の取り組み
- 4. 2023年3月期第2四半期 業績詳細
- 5. 参考資料

下期の取り組み



フルサービスキャリア



LCC





国際線

- □ 好調な北米路線の供給を積極的に増強
- □ 海外発の販売・レベニューマネジメント強化

国内線

□ 機材大型化・増便により足許で大きく回復する 需要を最大限取り込む

ZIPAIR

- □ 12月のサンノゼ線就航に向け、好調な売り出し
- **□ インバウンド取込みに向けて、増便を計画**

スプリング・ジャパン

💶 中国の水際規制緩和を待ちつつ、国内線を積極 的に運航

貨物·郵便

- 他社供給の活用とともに、機動的に販売施策を 実施し、物量確保・収入最大化を目指す
- 医薬品定温庫「JAL MEDI PORT」の活用により 高付加価値貨物の取扱量を拡大する

マイル・ライフ・インフラ等

マイレージ・コマース

- □ 楽天/JALUX等の新サービス認知拡大に取り組 み、マイルを「ためる」「つかう」機会を拡大
- エアモビリティ
- **□ 機材開発で先行するVolocopter社とビジネスモ** デルの検討を進める

その他

供給体制

コスト削減等

地域活性化

回復する需要に合わせて人員を確保、速やかに便数を回復

上期と同様、実質固定費を中心に費用削減を実施

持続可能な路線運営を通じた地域活性化を目指して5社⑴ コードシェアを実現



- 1. 2023年3月期第2四半期 業績概要
- 2. 2023年3月期通期連結業績予想
- 3. 下期の取り組み
- 4. 2023年3月期第2四半期 業績詳細
- 5. 参考資料

連結経営成績



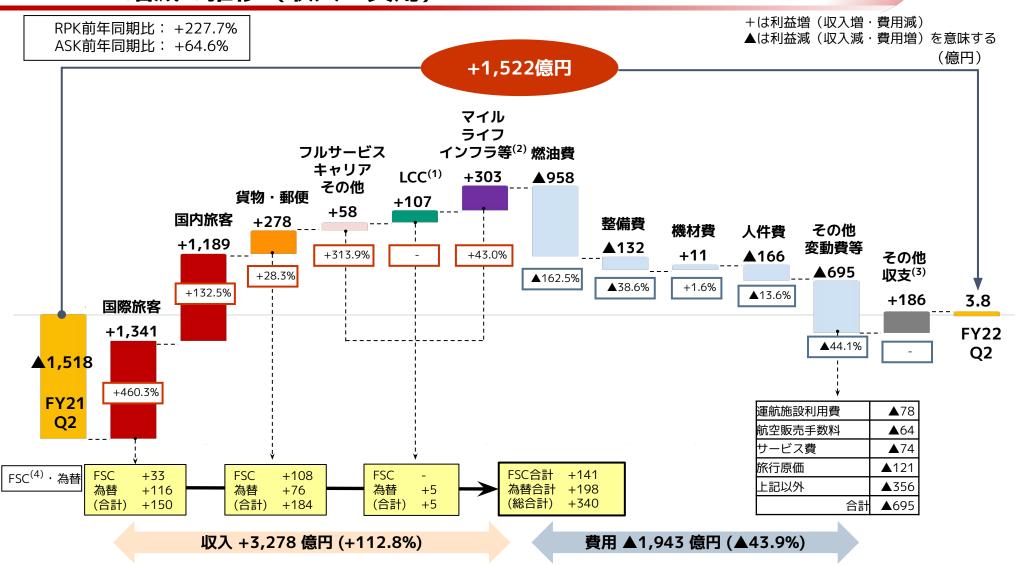
				累計					単独	
				FY19Q2		FY21Q2			FY21Q2	
(単位:億円)	FY19Q2	FY21Q2	FY22Q2	同期差	同期比	同期差	同期比	FY22Q2	同期差	同期比
売上収益	7,489	2,906	6,185	▲ 1,304	▲ 17.4%	+3,278	+112.8%	3,496	+1,920	+121.8%
フルサービスキャリア	6,122	2,191	5,058	▲ 1,063	▲ 17.4%	+2,867	+130.9%	2,874	+1,660	+136.8%
国際旅客収入	2,729	291	1,632	▲ 1,096	▲ 40.2%	+1,341	+460.3%	1,007	+828	+462.4%
国内旅客収入	2,858	897	2,086	▲ 771	▲ 27.0%	+1,189	+132.5%	1,206	+689	+133.4%
貨物郵便収入	451	983	1,262	+810	+179.5%	+278	+28.3%	609	+102	+20.1%
その他収入	83	18	76	▲ 6	▲ 7.7%	+58	+313.9%	50	+40	+389.4%
LCC(1)	-	8	115	-	-	+107	-	81	+73	+871.9%
マイル・ライフ・インフラ等	(2) 1,367	706	1,010	▲ 356	▲26.1%	+303	+43.0%	540	+186	+52.6%
営業費用	6,715	4,429	6,372	▲ 342	▲ 5.1%	+1,943	+43.9%	3,342	+1,067	+46.9%
燃油費	1,277	589	1,548	+270	+21.2%	+958	+162.5%	849	+526	+162.4%
燃油費以外	5,437	3,839	4,824	▲ 613	▲ 11.3%	+984	+25.6%	2,492	+541	+27.7%
その他収支 (3)	55	4	191	+135	+245.9%	+186	-	124	+117	-
EBIT	829	▲1,518	3	▲825	▲99.5%	+1,522	-	279	+970	-
EBITマージン(%)	11.1%	-	0.1%	▲11.0pt	-	-	-	8.0%	-	-
純損益	541	▲1,049	▲21	▲ 562	-	+1,028	-	174	+645	-
RPK(百万人丰口)	39,419	7,062	23,144	▲ 16,275	▲ 41.3%	+16,081	+227.7%	13,466	+9,439	+234.4%
ASK(百万席キロ)	46,222	22,072	36,338	▲9,884	▲ 21.4%	+14,266	+64.6%	19,968	+8,361	+72.0%
EBITDAマージン(%) (4)	21.7%	-	13.5%	▲ 8.2pt	-	-	-	19.7%	-	-

⁽¹⁾ LCC=旅客収入・旅客運送に係る手数料など (2) マイル・ライフ・インフラ等=旅行・マイル提携・受託事業収入など

⁽³⁾ その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支 (4) EBITDAマージン=EBITDA/売上収益

2023年3月期 第2四半期 業績詳細 EBIT増減の推移(収入/費用)



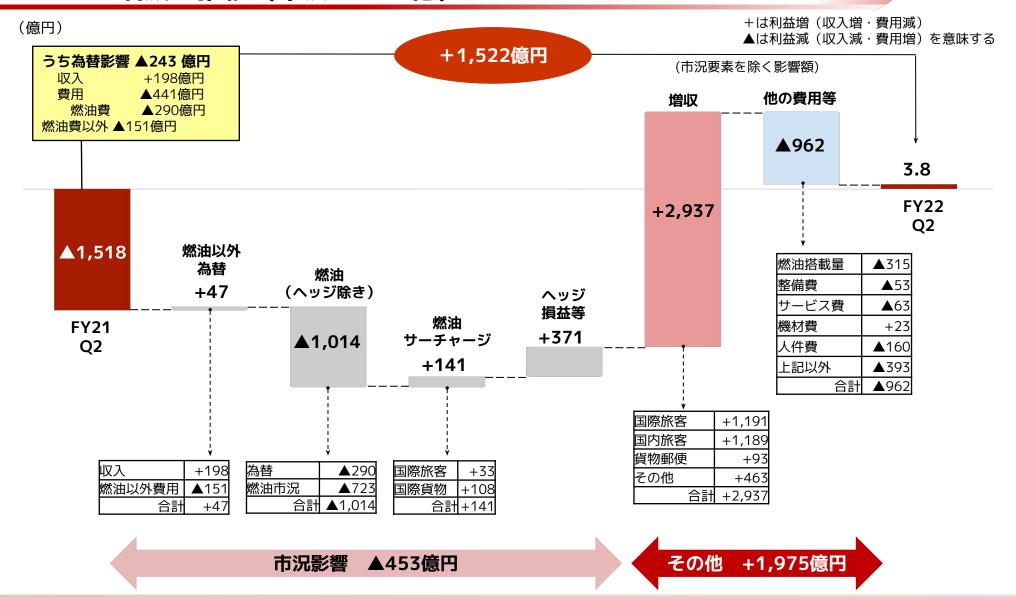


⁽¹⁾ LCC=旅客収入・旅客運送に係る手数料など (2) マイル・ライフ・インフラ等=旅行・マイル提携・受託事業収入など

⁽³⁾ その他収支=航空機材売却益・その他の収入・持分法投資損益・投資収支 (4) FSC=Fuel Surcharge

2023年3月期 第2四半期 業績詳細 EBIT増減の推移(市況/その他)





2023年3月期 第2四半期 業績詳細 国際・国内旅客事業 (フルサービスキャリア)



国際旅客事業		単独					
凹冰川甘ず未	FY19Q2	FY21Q2	FY22Q2	FY19Q2比	FY21Q2比	FY22Q2	FY21Q2比
旅客収入(億円)	2,729	291	1,632	▲ 40.2%	+460.3%	1,007	+462.4%
有償旅客数(千人)	4,946	353	1,742	▲ 64.8%	+392.7%	1,013	+396.4%
RPK(百万人丰口)	24,716	2,442	11,574	▲ 53.2%	+373.9%	6,775	+375.9%
ASK(百万席丰口)	27,835	10,742	16,402	▲ 41.1%	+52.7%	9,305	+68.6%
有償座席利用率(%)	88.8%	22.7%	70.6%	▲ 18.2pt	+47.8pt	72.8%	+47.0pt
単価 (円) (1)	55,175	82,392	93,707	+69.8%	+13.7%	99,437	+13.3%
イールド (円) (2)	11.0	11.9	14.1	+27.7%	+18.2%	14.9	+18.2%
ユニットレベニュー(円)(3)	9.8	2.7	10.0	+1.5%	+267.0%	10.8	+233.6%

国内旅客事業			単独				
四门川甘尹未	FY19Q2	FY21Q2	FY22Q2	FY19Q2比	FY21Q2比	FY22Q2	FY21Q2比
旅客収入(億円)	2,858	897	2,086	▲ 27.0%	+132.5%	1,206	+133.4%
有償旅客数(千人)	19,409	6,155	13,717	▲ 29.3%	+122.9%	7,636	+121.6%
RPK(百万人丰口)	14,703	4,582	10,554	▲ 28.2%	+130.3%	5,984	+132.8%
ASK(百万席丰口)	18,387	10,694	17,455	▲ 5.1%	+63.2%	9,267	+62.0%
有償座席利用率(%)	80.0%	42.9%	60.5%	▲ 19.5pt	+17.6pt	64.6%	+19.7pt
単価 (円) (1)	14,725	14,582	15,212	+3.3%	+4.3%	15,800	+5.3%
イールド (円) (2)	19.4	19.6	19.8	+1.7%	+1.0%	20.2	+0.2%
ユニットレベニュー(円)(3)	15.5	8.4	12.0	▲ 23.1%	+42.5%	13.0	+44.1%

⁽¹⁾ 単価=旅客収入/有償旅客数 (2) イールド=旅客収入/RPK (3) ユニットレベニュー=旅客収入/ASK

2023年3月期 第2四半期 業績詳細 貨物事業



		単独					
国際貨物事業	FY19Q2	FY21Q2	FY22Q2	FY19Q2比	FY21Q2比	FY22Q2	FY21Q2比
貨物収入 (億円)	297	808	1,090	+267.2 %	+35.0 %	521	+24.3 %
有効貨物トンキロ(百万)	2,233	1,616	1,857	▲ 16.8%	+14.9 %	962	+16.1 %
有償貨物トンキロ(百万)	1,212	1,509	1,446	+19.3 %	▲ 4.2%	716	▲ 7.4%
貨物輸送重量(千トン)	200	248	235	+17.4 %	▲ 5.0%	117	▲ 7.5%
重量単価(円/kg)	148	326	463	+212.7 %	+42.0 %	444	+34.3 %

		単独					
国内貨物事業	FY19Q2	FY21Q2	FY22Q2	FY19Q2比	FY21Q2比	FY22Q2	FY21Q2比
貨物収入(億円)	103	107	97	▲ 5.7%	▲9.1%	49	▲ 5.6%
有効貨物トンキロ(百万)	845	482	799	▲ 5.4%	+65.7 %	427	+66.8 %
有償貨物トンキロ(百万)	165	109	133	▲ 19.6%	+21.9 %	69	+24.6 %
貨物輸送重量(千トン)	178	111	139	▲ 22.2%	+24.7 %	72	+28.1 %
重量単価(円/kg)	58	96	70	+21.2 %	▲27.1%	68	▲26.2%

2023年3月期 第2四半期 業績詳細 LCC



			ZIPAIR		スプリング・ジャパン (1) 🤌			
	累計			単	単独		単独	
LCC	FY21Q2	FY22Q2	FY21Q2比	FY22Q2	FY21Q2比	FY22Q2	FY22Q2	FY21Q2比
旅客収入(億円)	1	74	-	53	-	36	24	+252.5%
有償旅客数(千人)	5	162	-	109	-	208	165	+617.7%
RPK(百万人丰口)	14	841	-	572	-	173	134	+495.8%
ASK(百万席キロ)	578	2,155	+272.4%	1,171	+280.8%	325	223	+297.5%
有償座席利用率(%)	2.6%	39.1%	+36.5pt	48.9%	+45.5pt	53.4%	60.2%	+20.0pt
単価(円)(2)	24,888	45,692	+83.6%	49,405	+86.5%	17,653	14,853	▲ 50.9%
イールド (円) (3)	8.6	8.8	+2.9%	9.4	+3.4%	21.2	18.3	▲40.8%
ユニットレベニュー (円) (4)	0.2	3.5	-	4.6	_	11.3	11.0	▲11.3%

参考		累計	単独		
ジェットスター・ジャパング	FY21Q2	FY22Q2	FY21Q2比	FY22Q2	FY21Q2比
有償旅客数(千人)	1,249	2,102	+68.2%	1,140	+49.6%
有償座席利用率(%)	69.6%	77.8%	+8.2pt	79.1%	+7.0pt

- (1)FY21Q1はスプリング・ジャパン連結前のため不算入、国際線および国内線合算
- (2)単価=旅客収入/有償旅客数
- (3)イールド=旅客収入/RPK
- (4)ユニットレベニュー=旅客収入/ASK

費用詳細



✓ 実質固定費は、第2四半期実績2,446億円。年間5,000億円の目標を更に下回るべく、更なるコストコントロールを実施し、燃油為替市況による費用増を少しでも打ち返す

主要営業費用項目

FY19Q2			累計					単独	
FY19Q2			EV/40						
FY19Q2			FY19Q2		FY21Q2			FY21Q2	
	FY21Q2	FY22Q2	同期差	同期比	同期差	同期比	FY22Q2	同期差	同期比
1,277	589	1,548	+270	+21.2%	+958	+162.5%	849	+526	+162.4%
435	162	241	▲193	▲ 44.4%	+78	+48.5%	128	+46	+56.1%
391	344	477	+85	+21.7%	+132	+38.6%	250	+82	+48.8%
95	28	93	▲ 1	▲ 1.7%	+64	+225.4%	49	+33	+217.9%
234	65	139	▲ 94	▲ 40.3%	+74	+113.3%	80	+45	+130.3%
1,079	470	770	▲ 308	▲ 28.6%	+299	+63.7%	425	+182	+75.2%
635	690	679	+44	+7.0%	▲ 11	▲1.6%	338	▲23	▲ 6.4%
1,511	1,225	1,392	▲119	▲ 7.9%	+166	+13.6%	691	+74	+12.0%
1,054	851	1,028	▲25	▲2.5%	+177	+20.9%	527	+100	+23.5%
6,715	4,429	6,372	▲ 342	▲ 5.1%	+1,943	+43.9%	3,342	+1,067	+46.9%
	435 391 95 234 1,079 635 1,511 1,054	435 162 391 344 95 28 234 65 1,079 470 635 690 1,511 1,225 1,054 851	435 162 241 391 344 477 95 28 93 234 65 139 1,079 470 770 635 690 679 1,511 1,225 1,392 1,054 851 1,028	435 162 241 ▲193 391 344 477 +85 95 28 93 ▲1 234 65 139 ▲94 1,079 470 770 ▲308 635 690 679 +44 1,511 1,225 1,392 ▲119 1,054 851 1,028 ▲25	435 162 241 ▲193 ▲44.4% 391 344 477 +85 +21.7% 95 28 93 ▲1 ▲1.7% 234 65 139 ▲94 ▲40.3% 1,079 470 770 ▲308 ▲28.6% 635 690 679 +44 +7.0% 1,511 1,225 1,392 ▲119 ▲7.9% 1,054 851 1,028 ▲25 ▲2.5%	435 162 241 ▲193 ▲44.4% +78 391 344 477 +85 +21.7% +132 95 28 93 ▲1 ▲1.7% +64 234 65 139 ▲94 ▲40.3% +74 1,079 470 770 ▲308 ▲28.6% +299 635 690 679 +44 +7.0% ▲11 1,511 1,225 1,392 ▲119 ▲7.9% +166 1,054 851 1,028 ▲25 ▲2.5% +177	435 162 241 ▲193 ▲44.4% +78 +48.5% 391 344 477 +85 +21.7% +132 +38.6% 95 28 93 ▲1 ▲1.7% +64 +225.4% 234 65 139 ▲94 ▲40.3% +74 +113.3% 1,079 470 770 ▲308 ▲28.6% +299 +63.7% 635 690 679 +44 +7.0% ▲11 ▲1.6% 1,511 1,225 1,392 ▲119 ▲7.9% +166 +13.6% 1,054 851 1,028 ▲25 ▲2.5% +177 +20.9%	435 162 241 ▲193 ▲44.4% +78 +48.5% 128 391 344 477 +85 +21.7% +132 +38.6% 250 95 28 93 ▲1 ▲1.7% +64 +225.4% 49 234 65 139 ▲94 ▲40.3% +74 +113.3% 80 1,079 470 770 ▲308 ▲28.6% +299 +63.7% 425 635 690 679 +44 +7.0% ▲11 ▲1.6% 338 1,511 1,225 1,392 ▲119 ▲7.9% +166 +13.6% 691 1,054 851 1,028 ▲25 ▲2.5% +177 +20.9% 527	435 162 241 ▲193 ▲44.4% +78 +48.5% 128 +46 391 344 477 +85 +21.7% +132 +38.6% 250 +82 95 28 93 ▲1 ▲1.7% +64 +225.4% 49 +33 234 65 139 ▲94 ▲40.3% +74 +113.3% 80 +45 1,079 470 770 ▲308 ▲28.6% +299 +63.7% 425 +182 635 690 679 +44 +7.0% ▲11 ▲1.6% 338 ▲23 1,511 1,225 1,392 ▲119 ▲7.9% +166 +13.6% 691 +74 1,054 851 1,028 ▲25 ▲2.5% +177 +20.9% 527 +100

変動的要素や 一時的要素を除外

実質固定費(4)

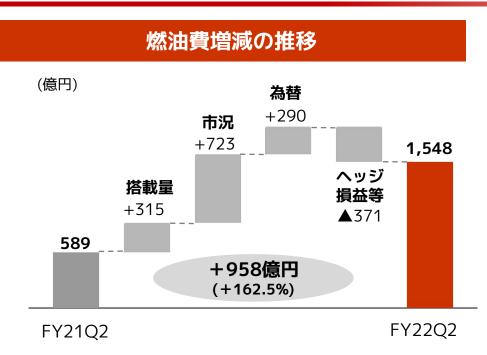
■ 実質固定費 ■ 固定費(実質固定費以外) ■ 変動費

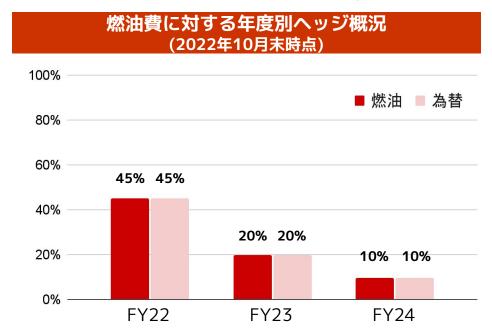
FY21Q2 2,309 4,429
FY22Q2 2,446 6,372

- (1) サービス費=機内・ラウンジ・貨物などのサービスに関わる費用 (2) 他運航変動費=旅行・マイル提携・受託事業原価 など
- (3) 科目上固定費となるが、運航規模・旅客数等による変動的要素がある費用や事業構造改革に伴う一時的/追加的な費用を含む
- (4) 実質固定費とは科目上の固定費のうち、運航規模・旅客数等による変動的要素がある費用や事業構造改革に伴う一時的/追加的な費用を除いた費用 @Japan Airlines, ALL rights reserved.

燃油費





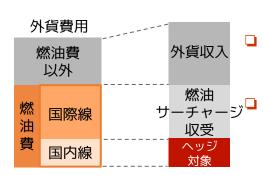


為替ヘッジ

燃油使用量 国内線使用量を対象にヘッジを 燃油 実施、燃油市況変動に対応 国際線 サーチャージ 収受 □ 国際線使用量は燃油サーチャー ジ収受にて対応 ヘッジ 国内線

対象

燃油ヘッジ



- 国内線使用量の燃油費を対象に ヘッジ実施、 燃油費における為 替市況変動に対応
- 足許では海外発需要の高まりに より、外貨収入が燃油費を除く 外貨費用を上回る

財務状況・キャッシュフロー状況



BS

- **✓** 格付評価上の自己資本比率39.0%、ネットD/Eレシオ0.2倍と健全な水準を維持

連結財政	7状態計算書	FY21期末	FY22Q2末	FY21期末差
総資産		23,716	24,485	+768 ^{(.}
現金および現金同等物		4,942	5,429	+487
有利子負債	有利子負債		9,238	▲ 46
	1年内返済 (※1)	867 (144)	1,081 (148)	+213 (+3)
自己資本(1)		7,997	7,809	▲188
自己資本比率 (%) (自己資本比率 (%) (2)(※2)		31.9% (39.0%)	▲1.8pt (▲2.1pt)
D/Eレシオ (倍) (3)		1.2x	1.2x	+0.0x
ネットD/Eレシオ (倍) (4)(※3)		0.5x (0.3x)	0.5x (0.2x)	▲0.1x (▲0.1x)
連結キャッシ	/ュフロー計算書	FY21Q2	FY22Q2	前年同期差
営業キャッシュフロ]—	▲ 958	1,202	+2,161
減価償却費		893	830	▲ 62
投資キャッシュフロー		▲ 1,040	▲ 525	+515
投資·出資額		▲1,114	▲ 597	+516
フリーキャッシュフ	7ロー (5)	▲1,999	677	+2,676
財務キャッシュフロ]—	1,639	▲266	▲ 1,906
キャッシュフロー台	計 (6)	▲359	410	+770
EBITDA (7)		▲ 625	834	+1,459

(単位:億円)

- ※1()内の数字は、1年内返済のうち航空機リース料
- ※2 ()内の数字は、ハイブリッド・ファイナンスを 加味した格付評価上の自己資本比率
- ※3 ()内の数字は、ハイブリッド・ファイナンスを 加味した格付評価上のネットD/Eレシオ
- (1) 自己資本=親会社の所有者に帰属する持分
- (2) 自己資本比率=親会社所有者帰属持分比率
- (3) D/Eレシオ=有利子負債/自己資本
- (4) ネットD/Eレシオ=(有利子負債-現金および現金同等物)/自己資本
- (5) フリーキャッシュフロー=営業キャッシュフロー+ 投資キャッシュフロー
- (6) キャッシュフロー合計=営業キャッシュフロー +投資キャッシュフロー+財務キャッシュフロー
- (7) EBITDA=EBIT+減価償却費



- 1. 2023年3月期第2四半期 業績概要
- 2. 2023年3月期通期連結業績予想
- 3. 下期の取り組み
- 4. 2023年3月期第2四半期 業績詳細
- 5. 参考資料

参考資料

全路線





旅客収入									
(単位:%)		累計		単独					
(辛位.76)	FY22Q2構成比	FY19Q2比	FY21Q2比	FY22Q2構成比	FY21Q2比				
米大陸線	41%	▲13.3%	+364.2%	41%	+358.5%				
欧州線	19%	▲31.9%	+587.7%	19%	+545.9%				
アジア・オセアニア線	30%	▲ 40.0%	+593.1%	29%	+640.6%				
中国線	3%	▲83.2%	+128.1%	3%	+104.1%				
ハワイ・グアム線	7%	▲ 70.8%	+1,259.9%	8%	+1,417.9%				
全路線	100%	▲ 40.2%	+460.3%	100%	+462.4%				
ASK									
(単位:		累計	単独						
百万席キロ)	FY22Q2	FY19Q2比	FY21Q2比	FY22Q2	FY21Q2比				
米大陸線	7,264	▲14.9%	+36.4%	4,002	+46.3%				
欧州線	2,313	▲ 43.7%	+3.3%	1,355	+14.8%				
アジア・オセアニア線	5,556	▲ 42.4%	+89.6%	3,045	+107.9%				
中国線	103	▲94.3%	▲9.6%	57	▲1.7%				
ハワイ・グアム線	1,163	▲68.9%	+768.9%	844	+972.8%				
全路線	16,402	▲ 41.1%	+52.7%	9,305	+68.6%				
		RPI	(
(単位:		累計		単独					
百万人丰口)	FY22Q2	FY19Q2比	FY21Q2比	FY22Q2	FY21Q2比				
米大陸線	5,376	▲30.4%	+290.3%	3,089	+287.8%				
欧州線	1,581	▲ 57.3%	+337.9%	1,014	+316.3%				
アジア・オセアニア線	3,769	▲ 54.7%	+533.8%	2,089	+564.5%				
中国線	67	▲95.8%	+45.0%	37	+26.6%				
ハワイ・グアム線	779	▲ 76.9%	+1,148.7%	544	+1,281.5%				

▲53.2%

+373.9%

6,775

+375.9%

11,574

有償旅客数										
(単位:千人)		累計	単独							
(羊位:十八)	FY22Q2	FY19Q2比	FY21Q2比	FY22Q2	FY21Q2比					
米大陸線	577	▲29.5%	+293.6%	332	+291.4%					
欧州線	169	▲ 58.8%	+332.9%	108	+311.7%					
アジア・オセアニア線	834	▲63.3%	+524.0%	464	+556.3%					
中国線	33	▲96.1%	+41.0%	18	+19.4%					
ハワイ・グアム線	<mark>ハワイ・グアム線</mark> 127		1,160.8%	88	+1,297.3%					
全路線	1,742	▲64.8%	+392.7%	1,013	+396.4%					
		有償座席和	可用率							
(単位:%)		累計	単独							
(半位:70)	FY22Q2	FY19Q2	FY21Q2	FY22Q2	FY21Q2					
米大陸線	74.0%	90.5%	25.9%	77.2%	29.1%					
欧州線	68.4%	90.1%	16.1%	74.9%	20.6%					
アジア・オセアニア線	67.8%	86.3%	20.3%	68.6%	21.5%					
中国線	64.8%	88.0%	40.4%	64.9%	50.4%					

90.3%

88.8%

46.6%

22.7%

ハワイ・グアム線

全路線

67.0%

70.6%

64.5%

72.8%

50.1%

25.8%

参考資料 航空機一覧



			前期末 2022/3/31			当期末 2022/9/30				増減				
			所有	リース	合計1	合計2 退役済み機材除く	所有	リース	合計1	合計2 退役済み機材除く	当期末合計2- 前期末合計2			
		Airbus A350-900	11	4	15	15	12	4	16	16	+1			
		Boeing 777-300ER	13	0	(1) 13	13	13	0	13	13	0			
		Boeing 777-300	4	0	4	0	0	0	(1) 0	0	0			
		Boeing 777-200ER	8	0	8	5	6	0	6	5	0			
フ	大 型	Boeing 777-200	4	0	4	0	2	0	2	0	0			
ル	機	大型機 小計	40	4	44	33	33	4	37	34	+1			
サ		Boeing 787-9	19	3	22	22	19	3	22	22	0			
	中型機				Boeing 787-8	25	0	25	25	25	0	25	25	0
ビス		Boeing 767-300ER	29	0	29	29	28	0	28	28	▲1			
+		中型機 小計	73	3	(1) 76	76	72	3	(1) 75	75	▲ 1			
ヤ	小 型	Boeing 737-800	47	12	59	58	48	10	58	56	▲2			
リア	機	小型機 小計	47	12	59	58	48	10	58	56	▲2			
,	IJ 	Embraer 170 / Embraer 190	32	0	32	32	32	0	32	32	0			
	ジョ	De Havilland DHC-8-400CC	5	0	5	5	5	0	5	5	0			
	ナ	ATR42-600 / ATR72-600	12	1	13	13	13	1	14	14	+1			
	ル 機	リージョナル機 小計	49	1	50	50	50	1	51	51	+1			
		フルサービスキャリア 合計	209	20	229	217	203	18	221	216	▲1			
LCC		Boeing 787-8	4	0	4	4	4	0	4	4	0			
		Boeing 737-800	0	6	6	6	0	6	6	6	0			
		LCC 合計	4	6	10	10	4	6	10	10	0			
		総計	213	26	239	227	207	24	231	226	▲ 1			

⁽¹⁾ 合計1と合計2の差異は期末時点における退役済み(売却待ち)機材



明日の空へ、日本の翼



当資料に関するお問い合わせ先 日本航空株式会社

財務·経理本部 財務部

免責事項



本資料には、日本航空株式会社(以下「当社」といいます)及びそのグループ会社(以下当社とあわせて「当社グループ」といいます)に関連する予想、見通し、目標、計画等の将来に関する記述が含まれています。これらは、当社が当該資料作成時点(又はそこに別途明記された時点)において入手した情報に基づく、当該時点における予測等を基礎として作成されています。これらの記述のためには、一定の前提・仮定を使用しています。これらの記述又は前提・仮定は当社経営陣の判断ないし主観的な予想を含むものであり、様々なリスク及び不確実性により、将来において不正確であることが判明し、あるいは将来において実現しないことがあります。したがって、当社グループの実際の業績、経営成績、財政状態等については、当社の予想と異なる結果となる可能性があります。かかるリスク及び不確実性には、日本その他の国・地域における経済社会状況、燃油費の高騰、日本円と米ドルその他外貨との為替レートの変動、テロ事件及び戦争、伝染病その他航空事業を取り巻く様々なリスクが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料に掲載されている将来情報に関する記述は、上記のとおり当該資料の作成時点(又はそこに別途明記された時点)のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

本資料に掲載されている情報は、情報提供を目的としたものであり、いかなる有価証券、金融商品又は取引についての募集、投資の勧誘や売買の推奨を目的としたものではありません。

本資料への当社グループに関する情報の掲載に当たっては万全を期しておりますが、監査を経ていない財務情報も含まれており、その内容の正確性、完全性、公正性及び確実性を保証するものではありません。

従いまして、本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負うものではございません。 なお、本資料の著作権やその他本資料にかかる一切の権利は日本航空株式会社に属します。